

第2話：茶の挿し木って不思議

最近、農林業センターで挿し木の準備をしたり、畑の草を取ったり動物除けの柵を作ったりしています。挿し木は生長した茶の枝を短く切ってペーパーポットや地面に挿していく作業です。今回は一足先に挿し終わった茶苗の事を話したいと思います。

挿し終えたばかりの茶苗がズラッと並んでいる光景は少し不思議です。

まず見た目。出てきたばかりの小さな芽が可愛らしく並んでいるのではなく、立派に成長した葉が地面から突然ニョキッと出現して並んでいるのです。

そして雰囲気。野菜の畑と比べて、「静か」な気がします。

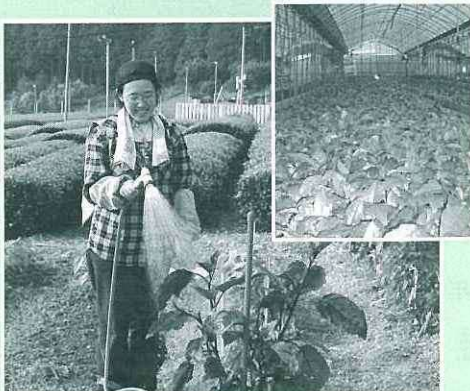
野菜畑は野菜自身が生長したり、実を作ったり活動しているので、静かなあとは思えません。が、ハウス内の茶苗は静かです。というより、時間が止まっている感じ、まるで造花のようです。

まあ、今までは枝の先端でグングン伸びていれば良かったのが、突然切り取られて、土に挿されて「根を出せ、芽を出せ」と言われるわけだから、驚くのも無理はない…かな。

そんな絶句(?)している茶苗たちに「立派に成長してよ」と呼びかけながら、必死に水やりに励んでいます。

うだるような暑さのハウスの中で…では、また来月!!

農林業センターの畑で、野菜に水やりしている石井さんと、ハウスの中にひしめく茶苗たち



みなさんの「声」が届いています
「珍しいクワズイモの花が咲きました」

下長尾…石間勇さん宅

先頃、下長尾の石間勇さんのお宅で、クワズイモの花が咲きました。このクワズイモは、サトイモ科の植物で、その素朴な雰囲気と強健な性質が愛好家に親しまれているようです。石間さんのお宅では、10年ほど前からクワズイモを育てており、今年3鉢ある内の、1つだけに実のような形の花が咲いたとのこと。

花が咲くのはこの10年で初めてのことです。ご近所や近くのお年寄りに見せると「珍しいこと、初めて見るよ」とビックリしていたそうです。石間さんは脇根を採取してご近所に分けていたそうです。既に3件のお宅でクワズイモがすくすく育っているとお話でした。

クワズイモ…学名 *Alousta odora* 和名クワズイモ

サトイモ科 アロカシア属 常緑性多年草

原産国 日本・中国・フィリピン

サトイモに似た根茎を持つアロカシア属。肉質の太い根茎とサトイモのような葉とのバランスが面白い中大鉢向けの観葉植物。名前由来は根に毒性があり食用にならないためと言われる。

クワズイモの全体の姿と花の部分



「茶娘の格好をしてみたいです」

地区?…松山さん

こちらの出身でない私にとって、一度で良いから「茶娘の格好での茶摘み体験」をしてみたいです。そんなイベントありませんでしょうか?もしありましたら教えてください、お願いします!

広報らしくない広報づくり、期待しています。

「目線の違う広報、楽しみにしています」

ペンネーム…匿名希望さん

広報かわねほんちよう、いつも楽しみに見えています。5・6月号と、今まではちよっと目線の違う広報に、また次号が楽しみになりました。ところで、広報かわねほんちようになって6月号でNO8。結構たまりました。そこで、中川根のときのように綴るファイルが欲しいのですが…。きっと私のように広報を愛読する住民もいるはず!ぜひ作ってください!

頑張ってる人紹介します

梅島下の横断歩道で、毎朝子ども達の登校を見守ってくれているおじいさんが2人います。交通量の多い道路です、とても助かっています。いつも、ありがとうございます。

おハガキありがとうございました!茶摘み体験は、来年も「川根茶フェア(川根お茶街道イベント)」で実施すると思います。ぜひ体験してみてくださいね。(茶娘かは不明ですが…)

広報綴り用ファイルも予算と相談しながら検討してみます。広報らしくない広報づくり…とても難しいテーマです。でも「広報らしい広報づくり」も、僕には難しいんですけどね…。今号でご紹介しきれなかったお便りが数枚あります。(慶弔欄についての反響もあり)来号でご紹介しますね。

*今月の「編集後記」はスペースの都合によりお休みします。